

対象地域	フランス リヨン (及びローヌアルプ地方)	在リヨン領事館事務所 リヨン日本人センター治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞	Le Progrès 他	2008年10月31日	2008年10月
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び領事館ルート	
調査項目:	① 邦人対象の治安情報 ② テロなどの一般治安情報 ③ 今月の出来事 ④ その他の情報		

報告要旨

1、邦人対象の治安情報

- A、一般的傾向
- B、地区別 犯罪集計結果:補足文書1
- C、多発の手口と場所の特定、防止策 :補足文書2

A、一般的傾向

今月は未成年の少女が近づいてきた男に誘拐され性的被害に遭うという事件が報告されている。治安の良いローヌ=アルプ地方であるが、子供には出来るだけ一人歩きをさせないようにしたい。毎年年末にかけて強盗、空き巣などの事件が増加する季節である。また、公共交通機関におけるスリの被害も相変わらず報告されている。子供つれでの外出や荷物を多く抱えているときには特に注意したい。ズボンのポケットやリュックサックの外側に貴重品を入れられないなどの初歩的な注意を怠らないこと。

[補足文書1]

B、地区別 犯罪集計結果

[補足文書1]

2008年10月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	リヨン東	リヨン西	リヨン南	リヨン北	アン県	イゼール県	ロワール県	合計
すり							1										1
空き巣			1		2					1	2		1	1			8
置き引き										1			4				5
引ったくり			1			2											3
万引き									1								1
強盗	1				1			2			1	1	4			1	11
窃盗(車・自転車)											1						1
カージャック													1				1
車内盗難											1	1	1				3
猥褻行為・強姦										1							1
いたずら電話・迷惑																	0
脅し・暴力行為	2	1	7		1		5	1	1	8	1	1	7				35
詐欺(カードなど)		2	1				1			2			1				7
拉致、誘拐				1													1
破損・放火							1						1	1			3
ストーカー							1										1
麻薬取引・所持			1										2	1			4
飲酒ノ無免許運転					1		1		1	2			1				6
その他									1								1
合計	3	3	11	1	5	2	10	3	4	15	6	3	23	3	0	1	93

備考欄: リヨン東→Mezrieu, Saint-Priest, Bron, Vénissieux, Villeurbanne, Saint-Fons
 リヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon
 リヨン南→Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison
 リヨン北→Rillieux, Vaulx-en-Velin, Décines, Caluire, Genas

* 数字はプログレ紙に掲載された軽犯罪の記事の数で、統計的な意味はない。

[補足文書 2]

C.多発の手口と場所の特定・防止策(新聞による報道記事から)

① 10歳の少女がペドフィリーの被害に

10月中旬、リヨン東部のシャポネで10歳の少女が誘拐され性的暴行の被害にあうという事件があった。10月14日午後5時30分ごろ、シャポネ市の中心街でバイクに乗った男が少女に道を尋ねるために話しかけた。男は一旦立ち去ったが、数分後に再び少女に近づき人目につきにくい場所へ誘い込んだ。少女は口を塞がれ、両手を縛られ性的暴行の被害を受けた。犯人はその後少女を現場に残したまま逃走した。少女は無事発見され、警察による捜査の結果イゼール県在住の32歳の男が逮捕された。(プログレ紙10月21日付)

② 引ったくりが続発

- 10月1日、リヨン6区で15歳の少年が68歳女性のハンドバッグを引ったくり補導された。女性に怪我は無かった。(プログレ紙10月3日付)
- 10月3日午後、リヨン6区で84歳の女性が引ったくりの被害にあった際にバランスを崩して転倒し、重傷を負うという事件があった。被害者の女性は救急車で病院に運ばれた。(プログレ紙10月4日付)
- 10月7日午前10時ごろ、ヴィルクバンヌ市で82歳の女性が近づいてきた2人組の男にハンドバックをひたたくられた。犯人らはそのまま逃走、女性に怪我は無かった。(プログレ紙10月9日付)
- 10月29日午前11時50分ごろ、リヨン北部のリュー・ラ・パーブ市で車に乗り込もうとしていた58歳の女性が背後から忍び寄ってきた男にハンドバックをひたたくられた。女性は抵抗したが転倒し軽傷を負った。犯人はそのまま逃走した。(プログレ紙10月31日付)

歩行中は常に周辺に注意を払い、道路側にはかばんを持たないこと。またひたたくられた場合には抵抗すると大怪我をする可能性がある。

③ カージャッキング

10月24日午前9時25分ごろ、カリユール市で49歳の男性がカージャッキングの被害にあった。男性は出勤し会社の駐車場に車を駐車した直後に二人組の男らに突然襲われた。犯人らは車のキーを奪って被害者の車で逃走。男性に怪我は無かった。(プログレ紙10月28日付)

赤信号などで停車中はもちろんのこと、普段行きなれた場所に駐車、停車する場合にも気を抜かず周囲の状況に気をつけること。駐車する際もできるだけ人目のつく場所を選ぶこと。

④ 強盗事件が続発

例年通り、9月末から強盗事件が続発している。これから年末にかけては特に増加傾向にある。

- 10月1日午後5時45分ごろ、デシーヌ市のスーパーマーケットに拳銃を持ち覆面をした男二人組が侵入。レジの現金を奪ってスクーターで逃走した。(プログレ紙10月2日付)
- 10月1日午後9時ごろ、リヨン8区の食料品店に拳銃を持った男が現れ、レジの現金とアルコールボトル数本を奪って逃走した。(プログレ紙10月2日付)
- 10月2日午後9時ごろ、リヨン8区のスーパーに刃物を持った男が出現。店主を脅して売上金を奪った後徒歩で逃走した。(プログレ紙10月4日付)
- 10月9日午後7時ごろ、アン県のラニュー市の宝石店に覆面をした二人組が侵入。店主を拳銃で脅して金庫を開けさせ在庫の純金、ショーケース内の宝石、時計、および売上金を奪ってオートバイに乗って逃走した。(プログレ紙10月11日付)
- 10月12日午後9時ごろ、リヨン8区のカソリンスタンドに覆面をして拳銃を持った男が出現。従業員を脅してレジの現金数百ユーロを奪って逃走した。(プログレ紙10月14日付)
- 10月15日午前4時ごろ、リヨン1区の食料品店に拳銃をもった男3人組が侵入。店主を脅して在庫のアルコールとレジにあった現金を奪って逃走した。(プログレ紙10月17日付)
- 10月17日午後3時ごろ、タッサン・ラ・ドゥミ・リユ市のスーパーに突然覆面をし武装した男が出現。レジにいた従業員を脅して事務所へ移動。事務所に保管されていた現金を奪って逃走した。犯行当時店内には多くの客がいたが怪我人はなかった。(プログレ紙10月18日付)

この他にも未遂事件が数件報告されている。警察もパトロールを増やすなどして防犯に努めているが、強盗に出くわした場合には騒ぐことなく冷静に対応すること。

⑤ ゆすり事件

9月27日午前、リヨン市内のロータリー付近に停車している白色のBMWのドライバーが助けを求めているのを車で通りかかった女性が発見。女性がBMWに近づくと隠れていた共犯の男が女性の車の助手席に乗りこんできた。男は女性を脅し、近くの現金自動引出し機で500ユーロを引き出すように要求した。警察の調べにより犯人は逮捕された。(プログレ紙10月7日付)

走行中は出来るだけドアをロックするよう心がけたい。

2.テロなどに関する一般治安情報

テロなどに関する報告は特に無し。

3. 在留邦人の被害事例

ローヌ・アルプ地方における被害報告は特になし。(在リヨン領事館ソース)

4.リヨン、ローヌアルプ地方今月の出来事

① フルビエールトンネルの閉鎖で道路が大混雑

10月6日、フルビエールトンネルが換気扇故障のため予告なく閉鎖された。一日に5万5千台もの車が利用するこのトンネルが予告無く閉鎖されたことにより、周辺道路は大混乱となった。トンネルは9日に再開通した。(プログレ紙 10月7日付)

② 司法官によるデモ

10月23日、全国的に司法官によるデモが行われた。リヨンでも3区の裁判所周辺で100人以上もの司法官らがダティ法務大臣の政策に反対してデモを行った。(プログレ紙 10月24日付)

③ 飼っている犬にかまれて怪我

10月26日午前10時ごろ、リヨン西部のブリュッシュー市で29歳の男性が自宅敷地内で飼っていたアメリカンスタッドフォードシャー二頭を噛まれて怪我を負うという事故が起きた。アメリカンスタッドフォードシャーは第2カテゴリーに分類される危険な犬で、市役所への届出と公共の場所ではリード、口輪をつけることが義務付けられており、今回事故を起こした犬は法律に従っての届出を済ませていた。ただし今回の事故は飼い主の自宅敷地内で起こった上に、二頭の犬が飼い主を襲ったのではないという事実が挙げられる。実際飼い主は喧嘩していた二頭の犬の仲裁に入って怪我を負った。事故を重く捕らえた同市市長は、問題となった犬の安楽死を許可した。(プログレ紙 10月27日付)

④ ローヌ・アルプ地方で降雪

10月末にローヌ・アルプ地方は寒波に襲われ、標高の高い地域では降雪が記録された。ローヌ県議会は幹線道路の冬期監視態勢を発表した。10月10日から2009年3月16日までの期間中、0800691469(固定電話からは無料)または www.rhone.fr にて、ローヌ県内の道路交通状況についての情報を得ることができる。(プログレ紙 10月29日付)

⑤ デシーヌのプールで塩素の蒸気が広がる

10月29日午後7時ごろ、デシーヌ市のプールにおいて塩素を含んだ蒸気が室内プールに広がり施設内にいた60人ほどの利用者らが軽い被害にあった。同施設の小プールに水を入れる作業をしている最中に起こった事故で、数人が気分が悪くなったり喉が痛くなったりなどの軽い症状を訴えた。作業は手順通りに行われており、なぜ塩素が拡散したのかは不明なため捜査のために同施設は一時閉鎖される。(プログレ紙 10月30日付)

5.その他の情報

① 家事手伝いなどによる盗難

- リオン3区に住む29歳の身体障害者の男性の自宅で家事などの手伝いをしている42歳の女が、男性の小切手帳から小切手を3枚盗んで 2000 ユーロほどを自分の口座に入れていたことが判明した。(プログレ紙10月16日付)
- リオン2区に住む89歳の女性の自宅で家事手伝いとして働いている24歳の女が、女性の目を盗んで小切手5枚を盗み、約 1800 ユーロを自分の口座に入れて換金していたことがわかった。被害者の女性の息子が不審な出費に気がついて警察に被害届けを出していた。(プログレ紙10月14日付)

このほかにも、招かれた知り合いの家で小切手やカルトブルーの情報を盗んで買い物をしていた犯行例も報告されている。自宅でも貴重品の管理には十分に注意すること。目に付きやすいところに保管することは避けたい。特に小切手帳の真ん中あたりからわかりにくいように小切手を数枚盗み取るという犯行例が多く報告されている。

② ガス漏れが相次ぐ

今年2月末にラファイエット通りで起きたガス爆発事故以来、道路工事現場などでのガス漏れ事故が問題になっている。今月もガス漏れの事故が数多く報告されている。

- 10月1日正午ごろ、リオン東部ジュナス市の道路工事現場でガス管が損傷しガスが漏れるという事故があった。(プログレ紙 10月2日付)
- 10月2日午後、リオン4区で建物のガス管から少量のガスが漏れているのが発見された。同建物のガスが止められ修理が施された。(プログレ紙10月3日付)
- 10月6日午後9時30分ごろ、リオン西部のシャンパーニュ・オー・モンドール市の建物のガス管からガスが漏れているのがわかり、住人らが避難した。(プログレ紙10月7日付)
- 10月9日午前10時20分ごろ、ヴィリュユバヌ市の建築工事現場で少量のガス漏れ事故が起こった。ただちにGDFの従業員がガスを止めて修理作業を行ったため、近隣住民の避難の必要は無かった。(プログレ紙10月10日付)
- 10月16日午後4時ごろ、リオン7区のベルトロ大通り付近の道路工事現場でガス漏れ事故があり周辺の道路交通が中断された。(プログレ紙10月17日付)
- 10月26日午後、ジュナス市で住民らが強いガスの臭いがすると憲兵隊に通報。ただちに周辺住民に避難勧告が出され、GDFの職員がガス漏れの箇所を探し出し修理を行った。午後7時ごろに避難勧告は解除された。(プログレ紙10月27日付)

2004年以降、ガス漏れ事故は年々増加しており、公道においては+67%、住居でのガス漏れは+33%となっている。